

第4A(小)分科会 組織・運営に関する課題

提案主題 学校教育目標達成に向けて地域と連携して取り組むための教頭の役割

サブテーマ ～家庭・地域との継続的な連携・協働をめざして～

協議の柱 教職員の地域連携についての意識向上へ向けた教頭の役割

提言者 別府市立春木川小学校 高橋 秀喜

1 質 疑

- (1) Q 地域と教職員をつなげるのに、教頭は何を大切にしてきたか。
A 「情報共有」地域が何をしたか教職員に知らせ、教職員の困りを地域に知らせる。
- (2) Q 教頭の役割として、学校運営協議会における学校評価4点セット案の提示・共通理解とあるが、協議に参加していない教職員にどうかかわりを持たせていくのか。
A 「家庭・地域の重点的取組と取組指標」を分掌部会で作成してもらう。「地域に何を期待するのか、何ができるか」と考えてもらう中で教職員の意識向上を図る。

2 協 議

- (1) 学校と地域の目標・ニーズをすり合わせる必要があるが、難しい。挨拶等、家庭・地域に取組を発信していくのは学校だが、周知理解浸透には工夫が必要である。
- (2) 小中合同の学校運営協議会の取組を実のあるものに変えたり、公民館に人材紹介してもらったり、防災対応を地域と考えたりする取組を進めている。
- (3) 連携はgive-and-take。互いにできることから費用の負担のないことから始める。
- (4) 「できることとできないことを整理調整」「地域と教職員の状況把握と連絡調整」等が教頭の役割である。
- (5) 「学校全体がかかわる行事にする」「伝統となればみんなやる気になる」等、日常的には教職員は地域と関わるのが少なくても、実際に参加することで教職員の意識が高まる。
- (6) 最初に地域連携の絵があると負担感が強くなるので、必要があつて協働を通して、必要感が生まれる。学校運営協議会等に情報を出し、方針を理解してもらい、それを聞いてともに動いてくれる姿を教職員に見せて、有難い思いを抱くと意識が高まる。

3 指導助言 ……CSを通した教頭の役割

- (1) 学校がめざすものと地域の協力を結びつけて企画
学校のビジョン・目標と地域の活動をどう結びつけるかが大切である。
- (2) 学校が今必要なことを地域の方に協力依頼
たとえば用務員さんが来ないで草が生茂っているという学校の困りがある。これを学校運営協議会等に相談して地域の方にやっていただく。このように、現状にあわせて協力願い、地域の方に感謝しながら、地域と結びついていくことが必要である。
- (3) 学校と地域の信頼関係の構築
学校運営協議会委員と教職員を結びつけていくことが大切である。学校や子どもの困りを伝え、解決への考えを共有して助けてもらう。それをつなぐのが教頭の役割である。